

3・27 三里塚 新しい労農連帯の飛躍へ 集会の成功を



小川源さんの音頭でシュプレヒコールをあげる横堀3750名の労農学

々しい息吹の存在を示した。同時に、歐米では再び反戦反核反米業の数万単位のデモがまき起り、中南米では反米闘争が激化している。そして INF 交渉の舞合裏で米ソ核軍拡は進み、米中、ソ連、英の対立が激化している。

かくして、国際—国内階級闘争は質的転換に直面している。

四・五時期の闘いの中で、われわれは中曾根政府打倒を前面へおしだし闘いぬき、その為の確固たる戦闘陣型を作り出す必要がある。中曾根打倒は、日本労働者人民の國際的責務である。

八・三春期前半の闘いの中で、これに向けた闘いへの胎動は、まだ少數の部分からではある確実に形づくられようとしている。佐世保における「全九州アピール」が、また三里塚反対同盟の三・八総会決議が、そしてま

「新たなる農運連帶の出発を印し、
圧倒的成功をかちとつた。
本集会は、明るく、のびやか
であつた。激しい雨さえも反対
同盟の歴史的脱皮を祝してゐ
ようであつた。本集会と三・二
一エンブラン入港実力阻止闘争は、
日本階級闘争の再編の問題と荒

四～五月期闘争を闘い六月 共産同政治集会の成功を！

義による重差別構造に一言も触れることなく、教育の警察管理、家庭基盤のブルジョア的再編の方向で収約せんとしていること。こうして、改善を頂点とした戦争遂行国家体制づくりが、社会の隅々にまで貫徹されようとしている。階級情勢の事態は、ここまで煮つまりはじめているのだ。

結成された「労組活動家連絡会議」が、また戦後労働運動の階級的再生をかけ、帝國主義と対決するプロレタリア統一戦線の萌芽ともいえる「労研センターワーク」の果すべき役割は重大である。いま、ある意味でこの動向は全国の耳目を集めているといつよい。労働者ばかりではなく三重塚の農民が、そしてまた「草の根労働運動」の部分がある。だから、この闘う労働者の政治的部隊の強化へ拡大を83倒閣闘闘のなかで急ぎ、これを中核として分散しつつもうごめく中曾根打倒の闘いを統一し、全人民運動としてつくりあげることは、共産主義者と闘う先進的部分の今日最大の課題で

中曾根反動は、単に国家の力装置の強権化のみならず、ルジョア・マスコミの統制・世保エンプラ報道や賃上げの水準化・三重塚への攻撃、教の反動化への草の根保守ともども、うべき、地域からの危機管理・配体制のあみあげ等、労戦・労働者支配と一対となって展されている。

保安処分、拘禁二法、優生護法改悪、スパイ防止法制定そして革行推進のための市民団結構想等々の、地方自治体議を通じた世論化がそれでも、労働者の失業問題、帝國

崩壊し、戦争と革命の時代がより一層深まる現在、政治勢力の新旧交代・再編、またその間の闘争は不可避である。これは階級闘争の激化として、階級・階層のなかに必然化する。ここに存在する事態の本質は、戦後階級闘争の大転換局面を反映し、資本主義を擁護するのか否か、破産し、ブルジョアジーからも総決算されんと働く「戦後民主主義」擁護に、労働者人民の闘いをおおじとめ欺まんするのか、それとも、たしかにそうした抵抗運動として燃えあがりつつある人民の憤激と不安・危機感を先頭で組織し、社会主義の側へと導くか否かとしてある。

こうした中で、中曾根打倒の声が職場・地域から大きくなり、これが正規の攻防網の強化を促し、「連絡会議」の地方的実体化と、労研センターや結集する闘う左派との共闘を強め、全民労協協議会の闘いを大衆的に作りだそう。

チーム・スピリット 83 弾劾

エンブラー 入港阻止 雨中の激闘貫徹する

原子力空母エンタープライズ
寄港阻止闘争は、佐世保松浦公
園で「全九州アピール」の呼びか
けによる集会を中心に、多くの
労働者学生の結集で闘われた。
海上デモ船のエンブラをとり
囲む果敢な闘いと呼応し、「全九
州アピール」に結集する四百名
は十六日に前段集会が開かれ、
釜田芳・争議団・泉州沖に空襲
をつくるせない住民連絡會議等
進撃、その後雨が激しく降る中
を総評系の集会に合流して終日
の闘いを貫徹した。
この日の闘いにむけて大阪で
また東京からの派遣団も九州
の闘う労働者と合流し、十五年
前の闘いをほうふとさせる激

しい阻止闘争を聞いた。
またこの日、佐世保の闘いと
呼応して、横須賀の労働者市民
も軍都ヨコスカでエンブラ奇港
反対の集会とデモを行った。

闘い行動する党への飛躍を確認し約七ヵ月がたった。わが同盟の革命的実践・革命的大衆行動の準備は、少しづつではあれ強化されてきている。だが、階級情勢はこの主体的飛躍をはるかに上回り激化している。われわれは、自らの革命的試練をへ、飛躍をがものとし、この時代に挑まねばならない。

統一地方選を

問うわれわれの態度

労働者階級の利益を守る左派候補を議会へ!

八三年統一地方選挙の意義

三月十六日、十三都道府県知事選挙の告示をもって、統一地方選挙の幕が上った。

今回の統一地方選挙は重大な意義がある。第一に、中曾根政府にとって政府登場以来、最初の全国的な政治戦である。第二に、中曾根政府による日本安保体制の攻守・軍事同盟化をテコにした、戦争と反動攻撃が激化している中で闘われる最初の全国的選挙であること。第三に、昨年の反戦核闘争の大高揚以後、最初の全国的な選挙である。第四に、この結果が衆・参選へ連動すること

第五に、全議会政党が「八三年政治決戦の前」よう戦と位置づけ全力を注いでいること。

この今回の統一地方選挙の重

大意義を踏まえ、われわれは猛然、選挙闘争に取り組み、闘

いぬかねばならない。われわれの獲得目標は三つである。第一

は、中曾根政府実力打倒の確固

性を配慮しつつ、左派候補の当

選と保守反動派の落選を目指し、

労働者人民の立場を守る翼の清

新風を地方政府に送りこむこと

である。第三は、選挙闘争を

共に闘う諸党派・政治サークル

との交通関係を打ちたて、革命

と党創建の共同事業を促す、また

党の主体的力量を形成・蓄積

していくことである。

選挙闘争に対する基本的態度

われわれは、選挙闘争を中曾根政府を打倒し、帝日本の戦争と反動の道を断つ闘いの一環として、根本的には、革命勢力の強

化と発展の一環として闘いぬかねばならない。

そのためには、選挙闘争に関

する幾点かの確認が必要である

われわれは、日本資本主義を

化させるために貸上げをやる

のだろうか。そもそも、われわ

われわれは、現実の条件を打破し、暴

力革命の現実的条件を打破し、暴

る選挙スローガンとして、われわれは「戦争と反動、金權・腐敗の自民党弾劾! 労働者階級

人民の立場を守る候補を議会へ

」を決定した。このスローガンの下に、われわれは今回の統一

の戦争と反動、金權・腐敗の自民党弾劾! 労働者階級

人民の立場を守る候補を議会へ

」を決定した。このスローガンの下に、われわれは今回の統一

の戦争と反動、金權・腐敗の自民党弾劾! 労働者階級

人民の立場を守る候補を議会へ

」を決定した。このスローガンの下に、われわれは今回の統一

の戦争と反動、金權・腐敗の自民党弾劾! 労働者階級

人民の立場を守る候補を議会へ

わが選挙スローガンと左派の規準

第一は、わが選挙スローガンの意義と選挙闘争の展開につい

て。現在のわが同盟の党的力量

は非常に小さい。しかも、わが

左翼戦線は分裂して、統一行動と

統一戦線の歩みは遅れたもの

がある。この日本階級闘争の主

題的条件を現実的出発点とする

中旬に金属労協の集中回答日を

中心とする中段の闘い、統一地

方選挙後に公労協を中心とした

後段の闘い、という二段階の戦

術を提案したが、全民労協に参

加した金銀などに、金属労協に

勝利していかなくてはなら

ない。そのため、労働者の立場から

は、わが選挙闘争の展開におけ

る、わが選挙闘争の展開におけ

う。第一は、選挙闘争に対するわ

われわれの基本的態度について。

われわれは日共の人民的議主

義や社会黨の平和革命論をマ

ルクス・レーイン主義の修正、マ

構造改革路線規定し、貫し

・再編は、議会政党の再編に止

め。と同時に、亀田候補の主

要選挙基盤が社会民主派と日

本候補への独自の投票呼びか

ける。かく現実の中で、わ

れわれは選挙闘争の基本的態度

を具体化していかねばならない。

それは、わが選挙スローガンに

て批判してきた。われわれは暴

力革命の立場を堅持している。

しかしこの立場は、議会と選挙

の闘争の放棄を意味しない。

今日、わが左翼戦線の中には

反議会主義が広範に存在してい

る。しかしこの態度は、国家と

議会と選挙基盤が社会民主派と日

本候補への独自の投票呼びか

ける。かく現実の中で、わ

れわれは選挙闘争の基本的態度

を具体化していかねばならない。

それは、わが選挙スローガンに

て批判してきた。われわれは暴

力革命の立場を堅持している。

まらない。

こうした帝国主義的運動を国

家機構へ直接に統合し、労働者

人民を支配していく方向での国

家機構の再編が進んでいる。こ

のうに、八五年体制作りは進

んでいる。その結果、議会制度

の位置が低下している。しかし

支配者階級は労働者人民の反抗

を押し止めるために、議会制度

を強化するために、議会制度

を強化するために、議会制度

するにとなく部落解放運動への

運動に対する態度が曖昧になっ

ておらず。

以上の諸点をわれわれは確認

し、今回統一地方選挙を各地

方・各域で貢献し、闘いぬか

ねばならない。その確認の下に、

われわれは大阪府知事選挙で亀

田候補への独自の投票呼びか

ける。と同時に、亀田候補の主

要選挙基盤が社会民主派と日

本候補への独自の投票呼びか

ける。と同時に、亀田候補の主

要選挙基盤が社会民主派と日

本候補への独自の投票呼びか

ける。

まらない。

こうした帝国主義的運動を国

家機構へ直接に統合し、労働者

人民を支配していく方向での国

家機構の再編が進んでいる。こ

のうに、八五年体制作りは進

んでいる。その結果、議会制度

の位置が低下している。しかし

支配者階級は労働者人民の反抗

を押し止めるために、議会制度

を強化するために、議会制度

を強化するために、議会制度

するにとなく部落解放運動への

運動に対する態度が曖昧になっ

ておらず。

以上の諸点をわれわれは確認

し、今回統一地方選挙を各地

方・各域で貢献し、闘いぬか

ねばならない。その確認の下に、

われわれは大阪府知事選挙で亀

田候補への独自の投票呼びか

ける。と同時に、亀田候補の主

要選挙基盤が社会民主派と日

本候補への独自の投票呼びか

ける。と同時に、亀田候補の主

要選挙基盤が社会民主派と日



寿町

われわれの春闘
の現場から

》 第2回 《

反合・反差別
地域共闘の拡大を

全過指導部へ怒りふつとう

全郵政の分裂糾弾

全過川北

神奈川の全通川崎北地方支部では、支部内の比較的組織率の高い二つの分金で、相次いで第一組合・全郵政の旗上げが強行された。一月十九日登戸局で、三月九日に高津局で全郵政高津支部を十七名で、日頃のマル生分子ばかりかき集め、ダノゴになって全郵政の旗で登場を開始した。

およそ表裏に労働運動とは無縁な存在の彼らをして、第一組合の旗上げをさせた原因は何か。それは全通中央本部が、十・八箇諒を皮切りに三回全国大会あるいは今年一月に発出した從来おしすすめてきた企針を表裏に路線転換することを下部組員に強制する企一〇一号(日常の組織活動・職場闘争指針・合理化に対する奉本方針)なる新たな指導文章が降された事に示されるように、露呈した金通指導部の足元を見ると、更には組合併をも見えた。地区内反対派たる川崎北部への搔きぶりである。地滑り的に右傾化する中央本部指導による組合員はとまどい、大きな失望を余儀なくされたり。

3・20追悼集会貫徹する

日雇労働者の怒りを組織し
差別・虐殺を生む時代と闘おう

しかし、從来の路線は、組合員が職場活動に参加することによって資本との闘いを通して階級意識化し、自覺させ体制変革へと目さしていたが、企一〇一号では事業の「共通認識」を強調し、事業防衛の急には積極的に効使協議制を求めるとしており、職場闘争の存在しない「静かな職場」が日當化してきた。

ここで、全郵政發言支部の一・二号宣言を若干引用すると、「我々は本日ここに産業民主

地域春闘の強化かちとれ

神奈川労組連

八三春闘は一月に発足した神奈川労組連にとどても、今後

